

No. 11 小中学校への冷房設置について（平成 30 年 7 月受付）

内容	連日「命に関わる危険な暑さ」が続いております。小・中学校の教室は夏の朝でも 30 度あるとききます。身体、集中力を必要とする学習はだいじょうぶでしょうか？今まででしたら「夏は暑い。がまん！」といった精神論で事足りたかもしれませんが、死者まで出ているこの異常な暑さはこれからも続くといわれています。 「命を守る」「夏の諸活動の充実」を考えた時、今、冷房は必要不可欠です。「ためらわずに冷房を！」と呼びかけられてもつけることができないのです。三校設置すれば 100%です。 借金をしてでも早急に対処していただきたくお願い申し上げます。
回答	今回お手紙を頂きました児童・生徒の学業向上および健康管理につきましてご心配いただき感謝申し上げます。 ご指摘をいただいたとおり、小中学校の一部の教室では、7 月中に室温が朝から 30 度を超え、日中は 35 度を超えた日があったことを確認しております。 一学期中の対応としまして、十分とはいえませんが特に室温が高くなる大多喜小学校において学校の協力のもと、扇風機の増設や、空調が設置してある特別教室を有効活用し、授業を行うなどの暑さ対策を講じてまいりました。 さて、ご要望いただきました空調設置につきましては、今年度中に中学校、来年度に小学校 2 校の設置を計画しておりますが、来年度の設置計画では工事期間等から来夏に使用できないため、この計画を見直し、小中 3 校を同時に設置するための検討をしているところです。 何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。